

富勢の子どもとして胸を張って次のステップへ！

9年間の
楽しく安心、充実した学校生活

富勢中

授業参観等で
教職員交流

混乱のない生徒指導

学力向上
いじめ~~×~~不登校

富勢小

授業改善
↑
働き方改革
↑
モラルアップ

地域の仲間

無理のない連携

↓
不祥事~~×~~

特別支援教育

・ふれる・つながる
・かかわる

富勢東小

富勢西小

あいさつ

民生児童委員

地域住民

早寝早起き朝ご飯

青少協

ふるさと協議会

保護者

教職員

おやじの会

富勢地区の全ての大人

～全ての大人が子どもの育成にかかわるという自覚～

新みんなで取り組む『教育立県ちば』プランより

イメージ図からのコミュニティスクールの目指す姿

図の下の部分に富勢地区の全ての大人、みんなで子どもを育てようという温かな地域があり、その中に1つの中学校と3つの小学校があるという図になっています。地域は学校をふんわり包み込む座布団のようなイメージです。そこに4つの学校が乗っています。小学校3つは同じ存在として一つの円を作っています。富勢地区の小学校の仲間たちです。規模に差はありますが、みんなで富勢中に行くことを考えると、学校の垣根を越え、良いつながりを作り、そのつながりを深めていくことはとても大切なことだと思います。

小学校6年間、中学校3年間の義務教育期間9年間がスムーズにつながるよう、学校教育目標はもちろん、生徒指導、学習指導などでの情報を4校で共有し、その時々子どもたちが困らないように考えることが大切です。

小学校は小学校で、同じ中学に行くことを見据えて、地域の力を借りながら教育活動を行い、中学校は中学校で、ある程度足並みがそろっている子どもたちの3年間がさらに充実し、自信を持って義務教育が終えられるように地域の力を借りながら教育活動を行ってほしい。小学校、中学校どちらの教職員も富勢の子どもたちを育てているという意識を持ちながら、日々の教育活動を推進することが大切です。

学校は地域の一部ではありますが、その全てではありません。何より大切なのは、自分たちの地域の子どもたちを、地域で育てようという富勢地区の大人の意識です。家では保護者が、外では学校はもちろん地域の大人も関わりながら育てていく形が望ましいと考えます。難しいことではありますが、そのことを全ての大人がわかっておくことも必要です。

地域のイベントは子どもたちを育てる上で大きなきっかけになるはずです。富勢地域には伝統的なイベント「八朔相撲」や「三世代ふれあい体育祭」「富勢地区文化祭」があります。また、地域ごとに工夫されたイベントもあります。富勢地域全ての大人が、富勢の子どもたちの横のつながりをつくるためにイベントを利用するという積極的な気持ちで臨むことからスタートです。

子どもたちが「富勢の子」として一体感を持ち、地域と共に9年間の義務教育を有意義に過ごし、胸を張って次のステップに向かえるようになってほしいという願いをかなえるために、コミュニティスクールの導入となりました。